



No.427

令和2年3月19日

編集発行 富山県教育委員会

発行人 教育企画課長

教委だより

特集 子どもとの面談テクニック・子どもへの話しかけ方テクニック (p3)

とやま・なんと国体2020(第75回国民体育大会冬季大会スキー競技会)

2月16日から19日、富山県では20年ぶり3回目となるスキー国体が「白銀の 世界をかける 風になれ」のスローガンのもと、富山市・南砺市を会場に開催されました。

今大会では、クロスカントリーリレー成年男子において富山県選抜が同種目県勢初となる優勝を果たしました。また、ジャイアントスラローム成年男子Cに出場した水口雄太選手(南砺市役所)も見事優勝を成し遂げました。少年種別では、宮木真帆選手(雄山高校)、宮崎美樹選手(南砺市立平中学校)が出場したクロスカントリーリレー女子で、富山県選抜が昨年に続き7位となり、同種目9年連続入賞を果たしました。

このほか、成年のクロスカントリー競技やコンバインド競技など、合計10種目で入賞し、競技別男女総合成績で2年連続第8位となりました。



氷都新時代八戸国体 (第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会)

1月29日から青森県で開催された冬季国体スケート競技会では、菊池萌水選手(KHネオケム株)が、ショートトラック成年女子1000mで1位、500mで2位入賞を果たしました。また、林莉輝選手(ダイイチ株)が、スピードスケート成年男子1500mで2位、5000mで3位に入り、富山県勢全出場種目で上位入賞を果たしました。

「奇跡の国体」～記録と記憶に残る第75回スキー国体～

記録的な暖冬による雪不足が続き、直前まで大会の開催が心配されましたが、大会関係者や高校生、自衛隊員の皆さまのご協力により、20年ぶりの地元開催を無事成功裏に閉幕することができました。また、開始式では、高校生による歓迎アトラクション・プラカードなどのおもてなしにより、会場を盛り上げることができました。大会にご協力いただきました全ての皆さまに心から感謝申し上げます。

(とやま・なんと国体2020県実行委員会事務局一同)

【開始式】



歓迎アトラクション：
南砺平高校郷土芸能部



プラカード・県旗受け取り：
南砺福野高校・南砺福光高校



会場飾花：中央農業高校

Contents (主な内容)

- 富山県教育フォーラム ……2p
- 第7回 科学の甲子園ジュニア(中学生)全国大会 ……2p
- 探究科学科三校合同課題研究発表会 ……2p
- 特集 子どもとの面談テクニック
・子どもへの話しかけ方テクニック ……3p
- 「ふるさととやまの自然
・科学ポイントラリー」認定証交付 ……3p
- 令和元年度とやま高校生ものづくりマイスター認定式 ……3p
- 令和2年度富山県教育委員会重点施策の体系 ……4～5p
- 「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」
作文コンクール表彰式 ……6p
- 特別展「HYOUSHIKI 標式土器」 ……6p
- 教師力向上支援事業 一報告会 ……6p
- とやま学校多忙化解消推進委員会 ……6p
- 健康教育実践優良学校の取組 ……7p
- 学校給食優良学校の取組 ……7p
- 令和元年度全国体力・運動能力、
運動習慣等調査の結果について ……8p
- 「富山マラソン2020」について ……8p
- はつらつ公民館学び支援事業 ……9p
- 令和元年度 高校生とやま県議会 ……9p
- インフォメーション ……9p
- 総合教育センターNOW ……10～11p
- 学校レポート
「AKB(あき人)で育て、AKB(あき人)で送り出す」
富山県立富山商業高等学校 ……12p
- リレーエッセイ「ディズニーから学ぶ」
富山県中学校文化連盟会長 富山市立速星中学校長
本田 正則 ……12p

富山県教育フォーラム ～科学する心を育む教育の推進～

「富山県教育フォーラム」が昨年12月14日(土)に富山国際会議場で開催されました。石井知事のあいさつの後、「とやま科学オリンピック2019」の授賞式が行われました。金賞、銀賞、銅賞、特別賞の受賞者343名(当日218名)一人ひとりに石井知事、伍嶋教育長、布野理事・教育次長、坪池教育次長から賞状と副賞が授与されました。

授賞式に続いて有人潜水調査船「しんかい6500」パイロット一等潜技士 石川暁久氏による『私を深海に連れてって』と題した講演がありました。講演で石川氏は「深海はまだ未知の世界ですが、科学技術の発達で、ワクワクするような珍しい生物や貴重な海底資源が発見されています。深海はたくさんの可能性を秘めています。」と話されました。講演の後半には、小中高校生から質問が相次ぎ、子どもたちの深海調査に対する興味や関心の高さが感じられました。



石井知事から授与される児童(金賞)



深海の世界について講演する潜技士の石川氏



教育長から授与される児童(銀賞・銅賞)



石川氏に質問する児童

第7回 科学の甲子園ジュニア(中学生)全国大会

昨年12月6日～8日つくば市で開催された全国大会に、とやま科学オリンピックの上位入賞者(中1～2年生)で構成された富山県代表チームが出場し、総合成績第7位、フレッシュマン応援賞(ナリカ賞)を受賞しました。大会は筆記競技および実技競技で争われ、地学分野から出題された実技①(実験競技)では、「つくば市を通る緯線の長さを求める」課題において、タブレット端末のGPS機能を用いて測定した経度差により、正確な緯線の長さを求めました。また実技②(工作競技)において事前に公開されたテーマは「マグネティック・フィールドを支配せよ」。大会前、代表チームメンバーは県総合教育センターや富山中部高校で研修を行い、磁石を組み合わせて作った複雑な地場により、回転体の動きを正確に制御しようと試行錯誤しました。本番でメンバーは制限時間いっぱいまで果敢にチャレンジし、見事に完走することができました。競技終了後のメンバーの、充実した表情がとても印象的でした。なお3月20日～23日に開催される第9回科学の甲子園(さいたま市)には、とやま科学オリンピック高校部門で好成績を取った富山中部高校が代表として出場し、今年も活躍が大いに期待されます。



工作競技終了直後の様子



授賞式で(株)ナリカ中村社長と

探究科学科三校合同課題研究発表会

富山、富山中部、高岡高校の探究科学科による「三校合同課題研究発表会」が12月15日(日)に富山国際会議場で開催され、3校の2年生約240人が58班に分かれ、これまでの研究成果を披露しました。

会場には各班が研究成果をまとめた模造紙が並び、「こんにやく由来のプラスチック」や「海岸のごみを回収するロボット作り」、「ルーレットで相手に勝つ確率」などのテーマについて、ポスターセッション形式で発表しました。3校の生徒以外にも他校の生徒や保護者、県内外の教員など多くの方が訪れ、生徒の発表に聞き入りました。各校代表によるステージ発表も行われ、来場者と活発な質疑応答が繰り広げられました。



ポスターセッションの様子

特集

子どもとの面談テクニック・子どもへの話しかけ方テクニック

～その3～

～「いじめ」は、未然防止と早期発見が重要。いじめのサインを見逃していませんか？～

いじめの被害者、加害者と適切な面談を行うための「面談テクニック・話しかけ方テクニック」は今回が最終回です。いじめの早期発見にご活用ください。
(監修 臨床心理士 山藤 奈穂子先生)

<見つけにくいいじめ被害者をどう見つけるか。子どもの態度から、いじめを発見するためのポイント>

重要

要指導 に見える態度は、**要支援** のサインかも!

声かけは「ちゃんとやりなさい!」ではなく、「最近、どうかした?」

見つけにくい

いじめの被害者の発見チェック例

- 忘れ物が増える。
- 成績が下がる。
- 体育の見学が増える。
- 調理実習に参加しない。
- 授業や活動の参加度が低い。
- 授業中に当てても答えない。
- グループで、自分の意見を言わない。
- 作文、絵画、工作などの展示物を仕上げない。
- 部活で、やる気が見られない。



これらの態度は一つだけで見ると、いずれも積極性が乏しいため、「要指導」のサインが見えますが、「要支援」のサインかもしれません。

発見チェックに該当するような態度が、他の授業や活動でも見受けられるか、周囲の先生たちに様子をみてもらい、情報共有を。

「国語の授業はどう?」
「休み時間の様子は?」
「部活では?」



情報共有の結果、「要指導」の態度が多く見受けられるようだったら、いじめ被害に遭っているかもしれません。

その場合、声かけのアプローチは、「ちゃんとやりなさい!」ではなく、「最近、どうかした?」

もし、要支援のサインを見落としてしまうと...

みんなから笑われる、馬鹿にされる。

先生が「ちゃんとやりなさい!!」と言うのは、わかるけど...でも、自分の状況をわかってもらえてない。



双方からのプレッシャーで、さらに学校への意欲が下がってしまい不登校になってしまう可能性!



上記のような態度をとる、いじめ被害者の心情

- ・授業中に当てられることや、自分の作品を展示されることは、周囲から注目され、陰で笑われる。
- ・学校が面白くないから、積極的になれない。
- ・決して、ラクをしたいからそんな態度をとっているわけではない。

「ふるさととやまの自然・科学ポイントラリー」認定証交付

富山の自然等を通して探究する態度や科学する心を育てるために、副読本「ふるさととやまの自然・科学ものがたり」に掲載されている自然や施設の見学、観察・実験を1回行うと1ポイントとなるポイントラリーを実施しています。今年度、積極的に取り組み、20ポイントに達した5年生32名、6年生60名、計92名に認定証を交付します。先生方には、子供たちの自然や科学に対する興味・関心の高揚にご協力いただき、ありがとうございました。

来年度もポイントラリーを行う予定としており、子供たちの意欲的な取組に期待しています。なお、今年度の5年生のみなさんが獲得したポイントは来年度も有効です。

令和元年度 とやま高校生ものづくりマイスター認定式

第4回となる、とやま高校生ものづくりマイスター認定式が2月20日(木)に実施され、33名の生徒に認定証が授与されました。この制度は、県内の高校生(工業科)を対象に、「ものづくりコンテスト」「ロボット競技大会」などの全国大会等において特に優秀な成績を収めた生徒や、高度な資格を取得した生徒をマイスターとして認定することにより、生徒のやる気を喚起し、意識・意欲・専門性の向上を図り、ものづくり人材の育成に結び付けようとするものです。認定の後、代表生徒の砺波工業高校3年川島大和さんが「努力を続ける大切さとものづくりの楽しさを忘れず成長していきたい」と今後の意気込みを含めた謝辞を述べました。



認定を受けた生徒の皆さん

令和2年度富山県教育委員会重点施策の体系

① 学校、家庭、地域で取り組む 子どもの成長支援

- 〔子どもの健全な育成と地域の教育力の充実〕
- とやまの子どもを守り育てるネット利用推進事業 (995) ★
 - 土曜日の豊かな教育活動推進事業 (12,933) ★
 - はつらつ公民館学び支援事業 (2,000) ★
 - 放課後子ども教室推進事業 (27,616)
 - 中学校放課後学習支援推進事業 (4,924)
 - 拡高等学校等就学支援金等 (2,029,104)
 - 拡公立高等学校奨学のための給付金事業 (156,373)
- 〔家庭の教育力の向上〕
- とやま親学び推進事業 (3,380) ★
 - 家庭教育かわら版事業 (1,500) ★
 - 小学1年生安心子育て支援事業 (345) ★
- 〔児童等の安全の確保〕
- 学校安全教育推進事業 (443)
 - 新地域安全マップづくり推進事業 (1,000)

② 子どもの可能性を引き出し、 才能や個性を伸ばす教育の推進

- 〔確かな学力の育成〕
- 拡とやま型学力向上総合支援事業 (22,465) ★
 - ・学びのアシスト推進事業 (1,245)
 - 拡ICT教育推進事業 (一部2月補正 174,481) ★
 - ・小中学校におけるICT教育総合支援事業 (847) ★
 - 拡とやま科学オリンピックの開催 (第10回) (9,500) ★
 - ・ふるさととやまの自然・科学探究推進事業 (3,330) ★
 - ・スーパーサイエンスハイスクール (1,127) ★
- 〔社会で生きる実践的な力の育成〕
- 富山型キャリア教育充実事業 (8,590) ★
 - 高校生とやま県議会事業 (880)
 - 拡とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業 (3,000) ★
 - ・とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 (2,000) ★
 - ・高校生ものづくりマイスター育成事業 (2,349) ★
- 〔グローバル社会で活躍できる人材の育成〕
- 拡英語専科教員の配置 (287,000) ★
 - ・とやま型スーパーグローバルハイスクール事業 (8,226) ★
 - ・とやまの高校生留学促進事業 (5,147)
- 〔教員の資質向上〕
- 教師力向上支援事業 (4,800) ★
 - 教師の学び支援塾事業 (1,500) ★
 - 拡幼児教育充実・強化事業 (4,500) ★
 - 拡教職員人材確保事業 (9,613)
 - ・採用前研修事業 (500) ★
 - 新学校多忙化解消推進事業 (7,150)
 - 拡スクール・サポート・スタッフ配置事業 (69,660)
 - 拡部活動指導員配置促進事業 (30,718)
 - 拡高校版スクール・サポート・スタッフ配置事業 (110,187)

③ 子どもの健やかな成長を支え 元気を創造する教育の推進

- 〔豊かな心と健やかな体の育成〕
- 社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 (15,780) ★
 - 拡スクールカウンセラー配置事業 (186,205)
 - ・スクールカウンセラーの全小・中学校等への配置
 - ・いじめ対策カウンセラーの派遣
 - ・スクールソーシャルワーカー活用事業 (19,710)
 - ・いじめ総合対策事業 (16,339)
 - ・いじめ対策ソーシャルワーカーの派遣
 - ・24時間いじめ相談電話の設置
 - 新いじめ対応ハンドブックの改訂
 - 新スクールロイヤーの配置 (1,476)
 - ・「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業 (1,179)
- 〔少人数教育と校種間連携の推進〕
- 少人数教育推進事業 (小学校) (91,491) ★
 - 小学校専科教員配置事業 (59,152) ★
 - 学びサポート講師配置事業 (48,090) ★
 - 中1学級支援事業 (3,044) ★
 - 少人数教育推進事業 (中学校) (21,936) ★
 - 教育課程研究指定校事業 (360)
 - 高大連携未来を拓く人材育成事業 (1,500) ★
- 〔特別支援教育の充実〕
- 拡とやまの特別支援教育強化充実事業 (13,362) ★
 - 拡特別支援学校就労応援事業 (6,628) ★
 - ・特別支援学校教諭免許状取得推進事業 (1,100) ★
 - ・特別支援学校司書配置事業 (2,161)
- 〔人権や思いやりの心を大切にする教育の推進〕
- 人権教育総合推進事業 (1,905)
 - ・いのちの教育総合支援事業 (1,335)

④ 社会の変化と多様なニーズに対応 した高校や大学等の教育環境の充実

- 〔県立学校の教育環境の整備・充実〕
- 拡再編移行期フォローアップ事業 (8,856)
 - 新令和の魅力ある学校づくり推進事業 (12,600) ★
 - 拡県立高校普通教室空調整備事業 (450,933)
 - 県立学校天井落下防止対策 (2月補正 104,572)
 - 拡高等学校建設事業 (一部2月補正 1,845,645)
 - ・運動場等整備事業 (149,178)
 - 拡学校修繕費 (867,513)
 - ・科学技術教育設備の充実 (320,373)
- 〔私立学校教育の振興〕
- 私立学校経常費補助金 (一般分) (2,253,392)
 - 拡私立高等学校特色教育振興事業 (186,274)
 - 拡私立高等学校生徒奨学補助金 (100,590)
 - 拡私立高等学校等奨学給付金 (62,891)
 - 拡私立小中学校修学支援実証事業 (900)
- 〔大学教育・学術研究の振興〕
- 大学コンソーシアム富山事業費等補助金 (7,867)
 - 公立大学法人富山県立大学運営費交付金 (2,805,301)
 - ・とやま未来創生産学官連携推進会議開催事業 (682)

ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、地域社会や全国、世界で活躍し、未来を切り拓く人材の育成

— 真の人間力を育む教育の推進 —

5 生涯を通じた学びの推進

〔多様な学習活動の支援〕

- ・ 県民カレッジ本部・地区センターの運営 (55,387)
- ・ 富山県映像センターの運営 (4,123)
- 人生100年時代 生きがいづくり事業 (2,800)
- 日本PTA全国研究大会富山大会開催事業 (4,000)

〔県民の学習を支える基盤整備〕

- ・ とやま学遊ネットの運用 (6,312)

〔キャリアを磨く実践的な学びの推進〕

- ・ 県立大学社会人向けセミナー開催事業 (4,700)
- リカレント教育等産学官連携推進事業 (3,045)
- 私立専修学校等リカレント教育推進事業費補助金 (1,000)

6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり

〔学校におけるふるさと学習の推進〕

- ・ 高校生郷土史・日本史学習教材活用事業 (3,539) ★

〔家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興〕

- ・ ふるさと探究講座 (939)
- ・ 地域課題学び活かしチャレンジ講座 (1,002)
- ・ 「高志の国文学」情景作品コンクールの実施 (795) ★
- ・ 「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの実施 (787) ★

〔高志の国文学館を拠点とするふるさと文学の振興〕

- ・ 文学を楽しもう！移動文学館事業 (900)
- ・ ゆかりの作家ライブラリー事業 (2,000)
- 第2回大伴家持文学賞・高志の国詩歌賞贈呈式の開催 (16,000)
- ・ 高志の国文学館企画展開催事業 (38,793)

〔伝統文化の保存・継承〕

- ・ 国・県指定文化財保存修理事業への支援 (73,500)
- 文化財の美装化等推進事業 (33,230)
- ・ 文化財ボランティアの外国人対応力向上事業 (400)
- ・ 富山の文化遺産魅力発信事業 (1,350)
- ユネスコ無形文化遺産情報発信事業 (600)
- 近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会開催事業 (6,500)
- 文化財保存活用大綱策定事業 (1,000)

7 次世代を担う子どもの文化活動の推進

〔子どもの様々な文化活動の充実と文化交流の推進〕

- 2020年とやま世界子ども演劇祭の開催支援 (73,000)
- 次世代育成音楽ふれあい事業 (21,000)

〔学校における文化活動の充実〕

- ・ 学校巡回劇場開催への支援（小・中） (770)
- ・ プロの演奏家による学校吹奏楽技術指導の実施 (740)

〔富山県美術館をはじめとする文化施設を活用した若い世代の芸術文化活動の振興〕

- ・ 富山県美術館企画展の開催 (127,314)
- ・ 富山県美術館の教育普及活動 (18,411)
- ・ 県立文化施設機能強化推進事業 (200,000)

8 元気を創造するスポーツの振興

〔県民がスポーツに親しむ環境づくり〕

- ・ 「富山マラソン2020」の開催 (92,720)
- ・ 富山県スポーツフェスタの開催 (11,265) ★
- 東京2020大会事前合宿・スポーツ交流支援事業 (5,000)
- 東京2020オリンピック招聘事業 (2,000)
- ・ 元気とやまスポーツライフサポート事業 (2,800)
- ・ 県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントの開催 (4,300)
- ・ 学校体育施設の開放 (5,245)
- 東京2020オリンピック富山県聖火リレー開催事業 (105,500)
- パラリンピック聖火フェスティバル開催事業 (5,000)
- ・ 武道館機能を有する多目的施設整備事業 (107,000)

〔学校等における体育・スポーツの充実〕

- ・ とやま元気っ子スポーツライフサポート事業 (1,000) ★
- ・ スーパーとやま元気っ子育成（みんなでチャレンジ3015）事業 (1,817) ★
- ・ 武道指導者資質向上支援事業 (3,907)
- ・ スポーツエキスパート活用推進事業 (13,451) ★
- ・ 環日本海インターハイ親善交流大会への選手派遣 (5,492)

〔全国や世界の檜舞台上で活躍できる選手の育成〕

- 国際競技力向上推進事業 (2,000)
- ・ 国体新種目選手育成強化事業 (2,151)
- ・ 未来のアスリート発掘事業 (6,000)
- ・ 元気とやまスポーツ道場開催事業 (20,000) ★
- ・ 中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業 (3,000)
- ・ サッカー・野球・駅伝強化事業 (15,000) ★
- ・ 富山県民スポーツ応援団トップアスリート支援事業 (12,000) ★
- 小学生駅伝普及事業 (600)

- ・ 障害者スポーツの全国大会・国際大会出場に対する支援 (3,000)

〔スポーツを支える人材の養成と活用〕

- ・ 「元気とやまスポーツ大賞」等の贈呈 (664)

9 教育を通じた「ふるさと富山」の創生

〔地域を支える人材の育成〕

- ・ 土曜日の豊かな教育活動推進事業（再掲）
- とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業（再掲）
- ・ とやまの高校生ライフプラン教育充実事業（再掲）
- ・ 富山型キャリア教育充実事業（再掲）

〔---〕：総合政策局所管事業

〔---〕：生活環境文化部所管事業

〔---〕：厚生部所管事業

★ は富山スタンダード

：富山ならではの質の高い教育を行っていくための特色ある取り組みや環境整備

「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクール表彰式

県農業教育振興会主催、第18回「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクールの表彰式が2月7日（金）、富山県農協会館で行われ11名の生徒が表彰されました。中学校、高校あわせて168編の応募があり、富山県知事賞には富山市立新庄中学校の宮悠志さんの「未来の富山県の農業を考える」が、富山県教育委員会教育長賞には中央農業高校の石黒雄大さんの「新しい複合経営で、富山の稲作を守る!」、砺波市立庄西中学校の清原希紘さんの「私の描く私の未来の農業について」が選ばれました。当日は受賞者を代表して宮さんが、農業の企業化・近代化を進めること、海外需要に積極的に対応し売り込むこと、農業と他業種との連携を深めることが重要だと発表しました。

富山の農業・ゆめ・みらい作文コンクール



特別展 「HYOUSHIKI 標式土器」

～私たち研究者の縄文時代の編み上げ方～

埋蔵文化財センターでは、特別展「HYOUSHIKI 標式土器」～私たち研究者の縄文時代の編み上げ方～(会期:10月4日～3月8日)を開催しました。

これまで調査研究が進められた「型式」に着目し、当センターで所蔵する縄文土器を「標式土器」として、その特徴を学ぶ展示としました。

S N S映えを意識した、縄文土器を円形に並べた「円形土器劇場」は特に好評でした。

富山県埋蔵文化財センター



教師力向上支援事業 一報告会一

教師力向上支援事業の報告会が2月17日（月）に教育長をはじめ、検討委員の皆様のお出席のもと開催されました。この事業は、教員の自発的な研修を支援することにより、幅広い視野、識見ある教員の育成を図ることを目的に、平成19年度から実施しています。令和元年度は、各校種の教員11名を国内外に派遣しました。

派遣者から「ICT教材や産業教育に関する先進的な取組」、「特別支援教育における支援のあり方」、「競技力向上のためのコーチング」や「海外（ヨーロッパ（ドイツ、ベルギー、フランス）教育事情視察」等の研修の成果や研修後の実践について報告がありました。



研修者の報告の様子

とやま学校多忙化解消推進委員会

今年度、とやま学校多忙化解消推進委員会を新たに設置しました。同委員会は、教職員の時間外勤務の上限等に関する方針を策定する際の、教員の多忙化解消・働き方改革についての基本的な考え方を幅広く議論、検討する事を目的としています。

委員長に高木繁雄氏（県商工会議所連合会長）、副委員長に大坪史尚氏（富山大学教職大学院教授）をお迎えしたほか、経済界、法曹界、PTA、校長会、市町村教育委員会、職員団体からの計14名の委員で構成し、第1回会議を11月5日（火）、第2回会議を1月20日（月）にそれぞれ開催しました。

会議では各委員より、学校現場での多忙化の現状のほか、今後必要な取組として、外部人材の活用や、部活動の抜本的な改革の必要性、また学校や教職員の個に応じた働き方改革が求められる等の具体的な意見が述べられました。

また、11月21日（木）には教職員の働き方や業務改善の取組等についての理解を深めていただくため、小・中・高校の学校現場を視察していただきました。

今後は、会議で議論された内容を踏まえて、県と各市町村教育委員会が、それぞれ時間外勤務時間の上限や、教育委員会と学校が行うべき多忙化解消の取組をまとめ、その取組を具体的に実施することで、教職員の時間外勤務時間の削減を目指します。



健康教育実践優良学校の取組



2019年度健康教育実践優良学校の総合・近視予防・歯と口の健康の3部門に11校が選ばれました。

	総合の部門	近視予防の部門	歯と口の健康の部門
優良校	小矢部市立東部小学校	入善町立飯野小学校	砺波市立砺波北部小学校
準優良校	砺波市立鷹栖小学校	砺波市立砺波南部小学校	射水市立片口小学校
努力校	魚津市立道下小学校 射水市立歌の森小学校 南砺市立井波小学校	入善町立入善小学校	入善町立上青小学校

ここでは、優良校の取組を紹介します。

「総合の部門」(いきいき富山っ子賞) 優良校「小矢部市立東部小学校」

進んで心や体の健康づくりに取り組む児童の育成を目指し、毎日、大休憩時にグラウンドで3分間走(雨天時は校内で体幹トレーニング)に取り組んだり、性に関する指導やがん教育等を計画的に実施したりしています。毎月15日の家庭と連携した望ましい生活習慣形成に向けた取組や、児童集会を取り入れた学校保健委員会等、活動を工夫しています。



◀歯のクイズ、正解は？

「近視予防の部門」優良校「入善町立飯野小学校」

自分の心身の健康状態を把握して、安全で健康な生活を営む能力や実践的な態度を育てることを目指し、生活習慣チェックや少メディア週間等、目の愛護に関する取組を行っています。また、低視力者への個別指導を行ったり、児童保健委員会では、目に関する保健目標をたてて活動したりして、児童が進んで生活を見直し改善する活動を工夫しています。



◀○かな？×かな？

「歯と口の健康の部門」優良校「砺波市立砺波北部小学校」

「親子むし歯予防教室」を2年生で実施したり、「全国小学生歯みがき大会」に6年生が参加したりするなど、発達の段階に応じた歯と歯肉に関する指導を展開しています。児童保健委員会が手作りの紙芝居で1年生に第一大臼歯の大切さを伝え、それを学校保健委員会で紹介し学校三師等から意見を聞くなど、児童の主体的な活動を促しています。



◀保健委員会の紙芝居



学校給食優良学校の取組

2019年度学校給食優良学校等が選ばれました。

- ・学校給食優良学校 富山市立芝園小学校
- ・学校給食功労者 黒田佐和子(富山市立杉原小学校 調理員)
石山 春美(富山市立朝日小学校 調理員)



ここでは、優良学校の取組を紹介します。

学校給食優良学校「富山市立芝園小学校」

児童が主体的に食に関する理解を深め、望ましい食事マナーを身に付けることができるよう取り組んでいます。箸の持ち方について、給食時間や休み時間の指導はもとより1年生の親子給食試食会で練習するなど家庭と連携した取組を継続的に行い、望ましいマナーの定着につなげました。給食室では連絡を密にとり、安全安心な給食を提供しています。



◀正しく持てるかな？

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

スポーツ庁が発表した調査結果の概要には「調査開始以降の推移をみると、今年度は小・中学校の男女ともに体力が低下した」とあり、その背景の一つとして「スクリーンタイム※の増加」が挙げられています。報告書等から、児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、体育・健康等に関する指導などの改善に役立てていきましょう。

※スクリーンタイム…平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間

1 体力・運動能力、運動習慣等調査結果の富山県概要

体力合計点は、小学校男女、中学校男子で全国平均を上回り、特に小学校女子は、すべての種目で全国平均を上回りました。中学校女子は、体力合計点で全国平均を下回ったものの、3年連続で50点以上の得点となりました。

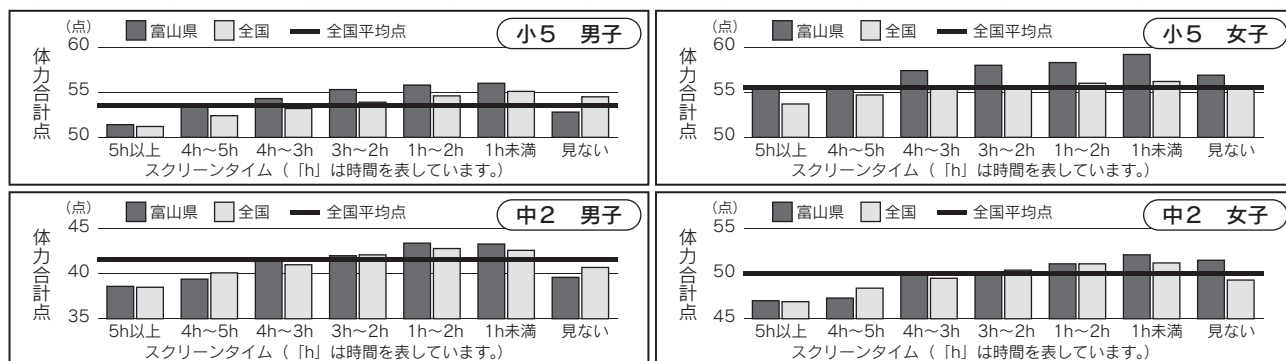
〈小5・中2の調査結果：悉皆調査〉 (網かけ : 本県平均値が全国平均値以上の種目)

種目等	小学校第5学年				中学校第2学年			
	男子		女子		男子		女子	
	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
握力 (kg)	16.54	16.37	16.39	16.09	28.82	28.65	23.46	23.79
上体起こし (回)	19.75	19.80	19.15	18.95	26.29	26.96	22.91	23.69
長座体前屈 (cm)	33.08	33.24	37.80	37.62	43.93	43.50	46.61	46.32
反復横とび (点)	43.91	41.74	43.02	40.14	52.24	51.91	47.61	47.28
持久走 (秒)					403.60	398.98	294.68	289.82
20mシャトルラン (回)	55.04	50.32	45.99	40.79	84.63	83.53	59.25	58.31
50m走 (秒)	9.51	9.42	9.62	9.64	8.11	8.02	8.89	8.81
立ち幅とび (cm)	154.68	151.45	151.56	145.68	198.79	195.03	172.75	169.90
ボール投げ ※1 (m)	22.54	21.61	14.85	13.61	20.77	20.40	13.13	12.96
体力合計点 ※2	54.68	53.61	57.89	55.59	41.86	41.69	50.20	50.22

※1 小学校はソフトボール投げ、中学校はハンドボール投げ

※2 体力合計点は、個々の各種目の記録をそれぞれ1点から10点に得点化し、合計した点数の平均値

2 スクリーンタイムと体力合計点との関連



児童生徒一人一人が生活を見直し、規則正しい生活リズムを続けていくことができるよう、引き続き指導をお願いします。

※ 調査結果・報告書や学校用活用シートはスポーツ庁のHPからダウンロードできます。

「富山マラソン2020」について

問合せ先 富山マラソン実行委員会事務局 TEL 076-444-4102

開催日：令和2年11月1日(日) 皆さまのエントリーをお待ちしております！

※詳細は、公式HPをご覧ください

種目	マラソン (42.195km)	車いす (9.7km)	ジョギングの部(約4km)
定員	13,000人	30人	1,000人
エントリー開始日	・4月11日(土)～(県民先行枠、ふるさと納税枠 ほか) ・4月25日(土)～(一般枠 ほか)		4月25日(土)～

はっらっ公民館学び支援事業 ～ふるさとに学ぶ！～

県では、将来を担う子供たちの健やかな成長を願い、平成20年度から公民館を拠点として、家族や地域の人々と交流しながら、ふるさとの学びや自然体験活動に取り組む事業を展開しています。今年度からは、この活動を「体験交流型」とし、新たに人生100年時代を見据え、公民館を拠点として地域課題の解決に向けた「学び」に取り組む「地域振興型」を加えました。

「体験交流型」は、「ネブタ製作会」「サツマイモ収穫体験」など、様々な体験活動や学習が実施され、伝統行事の体験や自然体験などを通して、子供たちのふるさとへの愛着を育む活動になっています。一方「地域振興型」は、「住民の防災意識の高揚」や「外部講師を交えた地域のよさの再発見・発信」等を課題として、それぞれの地域ならではの学びを展開し、地域課題解決に対する住民の認識の高まりや新たな絆づくりにつながる活動になっています。



【体験交流型：ネブタ製作会】
滑川市滑川東地区公民館



【地域振興型：避難行動要支援者の避難訓練】
砺波市立梅檀山公民館

令和元年度 高校生とやま県議会

12月16日（月）、県内の高校2年生40名の高校生議員が、「元気とやまを創造するために、高校生が考える〇〇〇」をテーマとし、「観光客を富山県に呼び込む手段」「男性の家事・育児参画と子育て支援アプリの開発」「伝統工芸の振興～伝統工芸を広める、文化の芽の種まき～」「介護福祉の魅力向上」「ユニバーサルな災害対策」の五つの切り口で、富山の未来をよりよくするための意見を発表しました。

高校生議員は、8月に認定証を授与された後、五つの委員会に分かれ、3回の委員会活動で県政への要望や高校生が実践できることを話し合いました。

また、県政に関心を持ち、政治への参加意識を高めていくために、県議会の傍聴や知事、県議会議員との意見交換も行いました。

※活動の様子は、生涯学習・文化財室のHPでも紹介しています。



委員会活動の様子



知事との意見交換



本会議の様子

インフォメーション

場所 内容 対象 募集人数 応募要領
募集締切 参加料 ホームページ 問い合わせ

受講生募集

放送大学富山学習センター 0766-56-9230

教員免許更新講習（令和2年度夏期）
受講生募集

申込期間 4/16(木) 15時～5/21(木) 9時

（インターネット申込みのみ）
更新に必要な30時間全て放送大学で受講
可能です（崇養教諭除く）。

受講期間 7/14(火) 10時～8/6(木) 17時

試験日 (下記のうち選択した1日)
8/22(土) または 8/23(日)



放送大学 更新講習
で検索

自遊塾
塾生募集

富山県生涯学習カレッジ 076-441-8401

県民カレッジ自遊塾 令和2年度塾生(受講生)募集

期日 令和2年3月2日～令和2年4月10日

県民カレッジ本部 076-441-8401

ボランティア講師（県民教授）が企画した、ユニークで魅力的な講座からなる自遊塾の塾生（受講者）を募集します。

https://www4.tkc.pref.toyama.jp/toyama/

自遊塾

塾生募集

入館
無料

富山県埋蔵文化財センター 076-434-2814

企画展「古代へのとびら2020」

期日 4月14日(火)～9月17日(木)

県内各地の遺跡から、貴重な出土品を時代順に紹介し、子供から大人まで楽しく観覧しながら、考古学を基礎から学べます。展示を見ながら、楽しく歴史を学びましょう。社会科の学習にもご活用ください。 金曜日



展示を利用した学習

総合教育センター NOW

2019年度 調査研究事業の報告 ◇◇詳しくは各学校に配付する研究紀要をご覧ください。◇◇

教育研修部 「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る指導に関する調査研究（2年次） －対話による探究的な言語活動の視点から－

「対話を取り入れた授業改善を行うことで、子供の学びが深まる」と仮説を立て、対話の質を高めるための「手立て」と「評価」の2つの視点を基に授業改善に取り組み、調査研究を進めました。「対話の場を設定するタイミング」「子供同士の問いを生み出す手立て」「対話スキルを教科のねらいに結び付ける振り返り」等の工夫が子供の学びを深める上で有効であるかを子供の発話・発言・記述等を基に検証しました。

科学情報部 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習の在り方に関する調査研究（2年次） －観察・実験を取り入れた課題解決型学習を通して－

1年次の研究では、観察・実験を含む課題解決型学習の授業観察から、「課題解決型学習を効果的に実施するための要件」を作成し、これを基に学習計画を作成・実践することで、「主体的・対話的で深い学び」の促進につながることを明らかにしました。2年次の研究は、「要件」を取り入れた学習計画を作成・実践しやすくするための「活用ツール」を研究開発しました。この「活用ツール」は「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて効果的であるだけでなく、校内研修にも活用できることを明らかにしました。

教育相談部 児童生徒の自己適応感を促す心理教育プログラムに関する調査研究（1年次） －あるがままの自分を感じるための学習プログラムの開発－

社会の急激な変化によって多様化、複雑化した環境にとらわれ過ぎず、自分らしくふるまえるようになるためには、自分なりの自分を感じることが大切です。自分の身体感覚や心の動き、大切にしている考えをみでみることから、自分なりの自分に気付いていく「あるがままの自分を感じる学習プログラム（試用）」を作成しました。研究協力校での実践を検証し、学習プログラムの開発を進め、学校支援に活用します。

教育研修部 「指標」を活用した研修を実施しています

平成30年3月に策定された「富山県公立学校の教員等の資質向上のための指標」は、教員がキャリアステージに応じた資質の向上を図る際の目安であり、教員一人一人が自らのキャリアステージを自覚し、学び続けることを目指しています。

教育研修部では、指標の内容を盛り込んだ事前・事後の自己評価や研修アンケートを実施することにより、受講者が、自己の変容や成長を意識できるように取り組んでいます。

指標に基づいた自己評価

基礎期（初任者研修会）	中間・事後の評価
向上期（6年次教職員研修会）	事後の評価
充実・発展期（中堅教諭等資質向上研修）	事前（10年次）・事後（11年次）の評価

向上したと思われる資質能力

平成30年度11年次教職員研修受講者の事後の自己評価より

- 円滑なコミュニケーションにより、互いに助け合い支え合う雰囲気を醸成する。（基礎的な能力）
- 危機管理意識をもち、教育活動を実践する。（教育公務員の職責）
- 教育公務員としての使命を自覚する。（" "）
- 常に自己研鑽に努め、探究心をもって自主的に学び続ける。（" "）
- 個や集団に応じた効果的な指導方法を工夫して実践する。（学習指導）

課題があると思われる資質能力

- 自校や地域の特色に応じたカリキュラムを編成する。（学習指導）
- 特別支援教育に係る関係機関との連携を推進する。（特別支援教育）
- 保護者、地域、関係機関との連携・協働のネットワークを形成する。（マネジメント）
- 特色ある学校づくりに向けてOJTを実践するとともに、企画・調整の力を発揮して、組織としての教育力を高める。（" "）

教育研修部では、自己評価やアンケートの結果を基に、効果的・効率的な研修となるよう研修内容の改善に取り組み、資質の向上を目指して、主体的に取り組む教員の育成に努めていきたいと考えています。

科学情報部

「小学校プログラミング教育研修会」のご案内

いよいよ令和2年度より、小学校におけるプログラミング教育が全面実施となります。当センターでは、令和2年度の教職員研修として、プログラミング研修会 小学校プログラミング教育「導入コース」と「授業づくりコース」の2コースを開講します。それぞれのコースの内容は以下のとおりです。

「導入コース」

- ・講義：プログラミング教育導入の背景やねらい、育てたい資質・能力、学習活動の例等、プログラミング教育の概要について
- ・演習1：5年算数の「多角形」と6年理科の「電気の利用」に関して、実際に教科書に載っている教材の使い方や授業の進め方について
- ・演習2：プログラミング言語のScratchとViscuitの基本的な操作方法について

「授業づくりコース」

- ・講義：プログラミング教育の授業を実践する上でのポイントについて
- ・演習1：プログラミング教育を中心としたカリキュラム・マネジメント
- ・演習2：様々な教科でこれまでに実践されてきた指導案を各校の実態に合うように修正して指導案を作成、協議を通して練り上げるワークショップ

○令和2年度は8月6日(木)にそれぞれ半日研修として行います。ぜひご参加ください。



当センターで行った「プログラミング教育研修会」の様子(令和元年8月)

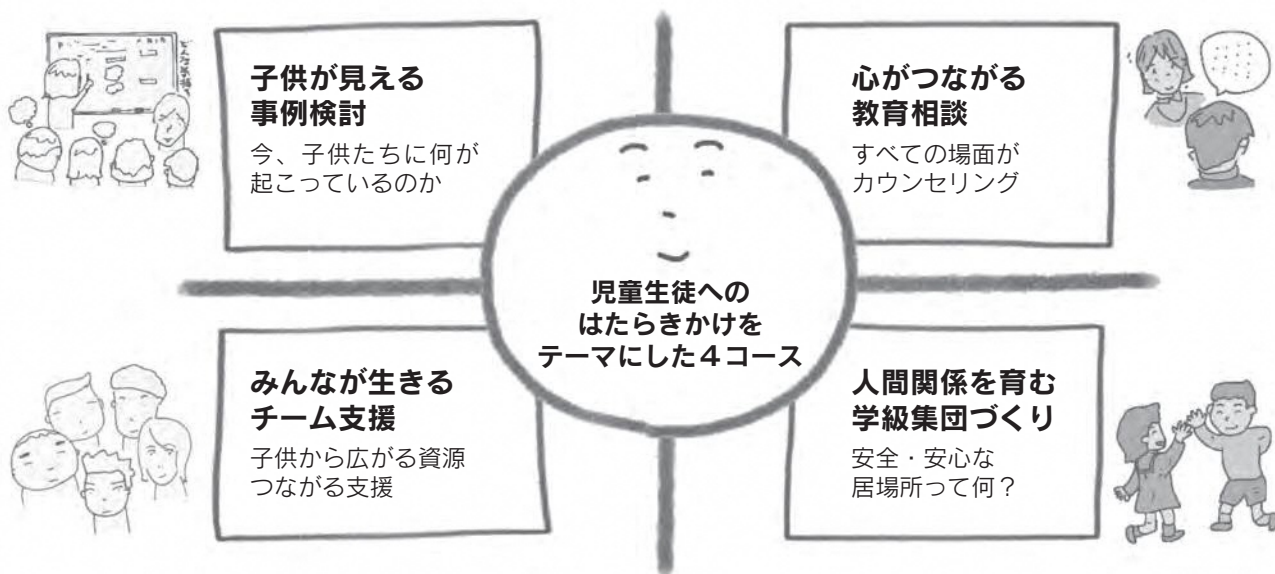
教育相談部

学校の日常に活かす「学校カウンセリング講座」

学校の日々の教育的な実践の中には、学校カウンセリングとして機能するコミュニケーションがたくさんあります。特別な知識や技能がなくても、それらを活かすことが児童生徒の支援につながります。その観点から、教師が児童生徒と共にそれぞれの自己実現に向けてよりよく生きるためのはたらきかけについて考えるのが、学校カウンセリング講座です。

児童生徒理解を深めたい、児童生徒との関係を振り返り人間関係を育みたい、授業や学校生活でのやりとりを通して共に成長していきたい、困難な状況にある児童生徒をみんなで支援していきたいなどのニーズに応えられるよう研修内容を工夫しています。

児童生徒の「いま/ここ」に向き合うことから、「これから」の関わりやはたらきかけについて考えましょう。



学校カウンセリングにおいて子供の姿に出会うときは、いつでも「入門」です。経験や校務の担当に関わらず、学校カウンセリングに関する講座は初めてという方や同様の講座を受講したことがある方でも受講できます。複数のコースの受講も可能です。

学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

学校レポート

AKB (あき人) で育て、 AKB (あき人) で送り出す

富山県立富山商業高等学校

明治30年4月、富山簡易商業学校として創設され、平成29年度には創立120周年を迎えた富山商業高等学校の取組みや生徒たちの様子を紹介したいと思います。

朝乃山を輩出した相撲部をはじめ各運動部の強豪として有名ですが、経理部、コンピュータ部、ワープロ部、珠算部など商業系文化部も活発に活動しており、経理部では超難関の日商簿記1級検定への合格者もみられます。

毎年11月に行っている生徒販売実習の模擬株式会社 TOMI SHOP(法人登録)では、扱う商品をクラスごとに担当し、仕入れから販売まですべてを生徒が行います。今年度、企業の協力を受けて生徒は「富醬とまらんとう」と名付けたかりんとうを開発し販売するなど、社会で即戦力となる人材育成の場となっています。販売金額総計はなんと1,330万円に達し(昨年度)、確定申告を行い法人税なども納付しました。

6月には近隣中学校を訪れビジネスマナー教室を行い、挨拶やお辞儀の仕方などを伝達しました。対象は「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」直前の中学校2年生で、自身の知識・技量の定着を図るとともに、地元中学校との交流を通して地域貢献の一環となりました。

富山商業高等学校には「AKB(あき人)で育て、AKB(あき人)で送り出す」という言葉があります。「あき人」とは商人を示しており、校歌第二番の歌詞「あき人の道きはめつつ」から用いられています。挨拶(A)、教科指導、キャリア教育、検定(K)、部活動(B)で育てられ、富商マインドを身につけて人間的に大いに成長して、卒業時には、愛され、信頼される人間力(A)、課題解決力(K)、ビジネスの理解力と実践力(B)を身につけて送り出される生徒の姿が目につかぶ訪問となりました。



部活動 集合写真



TOMI SHOP 販売の様子

リレーエッセイ

ディズニーから学ぶ

富山県中学校文化連盟会長 富山市立速星中学校長 本田 正則

ディズニーランドは、訪れる度にとっても楽しく、幸せな気持ちになります。どうしてだろうか?学校もディズニーランドみたいになれないだろうか?

福島文二郎著「9割がバイトでも最高のスタッフに育つ ディズニーの教え方」を読んで、その答えを見つけました。

ディズニーランドのスタッフが、9割がバイトなのに、最高のスタッフだったからです。では、どのようにして教え、最高のスタッフに育てているのでしょうか?

それは、ディズニーのミッション(組織が目指すべき方向性)とそれを実現するための行動指針が、とても明確で素晴らしい内容であるお陰です。そこで、そのミッションと行動指針を基に、勤務校の教職員のミッションと行動指針をつくりました。

- ディズニー【教職員】のミッション
全てのゲスト【生徒】に、ハピネス【生きる力】を提供する。
- ミッションを実現するための行動指針
 - ① 安全性 …常に安全に目を配る。
 - ② 礼儀正しさ…全てのゲスト【生徒】は、VIP【かけがえのない存在】であると考え対応する。
ア 笑顔 イ あいさつ ウ アイコンタクト
 - ③ ショー …パーク内【校区内】をオンステージ【教育の場】と呼び、全員がプロとして最高のショー【教育】を提供する。ディズニールックを守り【身だしなみを整え】、私的なことを仕事に持ち込まない。
 - ④ 効率 …チームワークを大切に、無駄を省く。
生徒たちが、登校する度にとっても楽しく、幸せな気持ちになれる学校を目指しています。



■執筆者プロフィール

富山市出身 大泉中学校長、東部教育事務所主任指導主事、城山中学校長を経て平成30年4月より現職
平成30年度全国中学校文化連盟副会長、令和元年度全国中学校文化連盟会長

御意見・感想・学校が元気になるアイデア等お寄せ下さい。

教育長への直通メールアドレス：ml-powerup@pref.toyama.lg.jp